

特別活動（ホームルーム）指導案

令和3年11月5日（金）3・4校時（10:55～12:45） 2年5組（情報ビジネス科）40名
教室（2年5組） 指導者 木暮 臣祥

1 題材名

「IT企業から学ぶ『勤労観』 ～進路選択へのステップ～」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領第5章特別活動〔ホームルーム活動〕2内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現 ウ「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」 エ「主体的な進路の選択決定と将来設計」に当たるものである。

実践協力校は全学年7クラス編制で、1年次はくくり募集として商業に関する基礎学習を行い、生徒一人一人の興味や特性、将来の目標などを鑑みて学科選択を行い、2年次から国際ビジネス科、情報ビジネス科、流通ビジネス科の3学科に分かれて科別学習を行っている。

学業と同様に資格取得に力を入れ、全国商業高等学校協会主催の検定における1級3種目合格者数は全国で上位に位置している。また、部活動も運動部・文化部ともに非常に盛んであり、学業と部活動を両立している生徒が多い。そのため、生徒の大半は真面目で素直な性格であり、落ち着いた学校生活を送っている。

しかしその反面、生徒自らが進んで行動することに消極的になっており、特に進路に対しての意識は高くはない。進路選択について本格的に意識して行動に移す時期が、3年生の部活動引退後である生徒が多いという課題がある。現在、2年生の進路希望は就職が約3割、進学が約7割となっている。早い時期から将来に向き合い考えることで進路選択の幅が広がっていくことを学ばせたい。また、商業高校における進路選択の一つであるシステムエンジニア（以下、SE）を取り上げて、必要な知識やスキルを身に付けるためには何が必要かということを考えさせ、進路選択の計画を立てさせたい。さらに、進路選択を計画する中で「キャリアプランニング能力」を高めるキャリア教育へと結び付けていくことをねらいとして、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先の株式会社クライムは最先端のIT企業として、「システム開発事業」「インフラ事業」「プロダクト事業」を展開している。理念として「従業員の幸福を最大の目的」と掲げ、「ICTを通して人々の生活と社会を便利にし、世界中のすべての人を幸福にすること」を使命としている企業である。

研修の4～6月の3か月間は新入社員研修に参加し、SEとして必要となる情報や、プログラミングに関する基礎的・基本的な知識や技術を学んだ。7月以降は配属先の群馬事業所において、システム開発のプロジェクトに参加し、営業・設計段階からシステム開発までの流れを実際に体験した。

研修を通して、顧客とのヒアリングの中で問題点や課題を明確にしていくためのコミュニケーション能力が必要であると感じた。IT業界は日々進化しており、新しい技術やサービスが次々と生み出されている。現状の知識やスキルに満足せず、最新の技術を学び続ける姿勢が重要であることから、進路選択の一つとしてSEを取り上げ、働くことの意義を考え、社員の方々とオンラインによる対話及び仕事に関するアンケート結果を活用し、将来を見据えた進路計画を考えていくという「キャリアプランニング能力」を高める授業を実践したい。

4 指導方針

- （1）「働くことの意義」について問いかけることで、自分と社会との関わりや役割、目的などを考えさせて、勤労観を意識させる。
- （2）実社会で活躍するクライムの社員の方々とオンラインによる対話をする、教師支援型の遠隔授業の授業形態で行う。

- (3) 社員の方々に行った「仕事に関するアンケート」を基に、SE を具体例として取り上げ、自己の進路選択の計画を立てさせることで、主体的に進路に向き合えるようにする。
- (4) 生徒一人一人が ICT 端末を用いてワークシートに入力し、インタラクティブプレゼンテーションソフトを使用して意見の情報共有を図るなど、ICT を活用する。
- (5) ワークシートの入力・保存を行うことで、キャリア・パスポートの一部とする。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	よりよい生活を築くための知識・技術		
	集団の一員としての思考・判断・実践	自身の勤労観について考え、目指す仕事や業種に関する必要な知識やスキルについて判断し、キャリア（進路）を計画しようとしている。	
	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	キャリア（進路）に関心をもって向き合い、今後の目標設定を主体的に行おうとしている。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動		・キャリア（進路）について考えようとしている。	・進路に対する意識についての事前アンケート
本時の活動		・勤労観について考える。 ・目指す仕事や業種に必要な知識やスキルについて判断し、キャリア（進路）を計画することができる。	・働くことの意義について考える ・キャリアプランの作成 ・ペアワーク ・ワークシートへの入力
事後の活動		・本時の中で決めた目標を、学校生活の中で実践する。	・進路に対する意識についての事後アンケート

6 本時の学習指導

- (1) 目標 「働くことの意義」や高校卒業後の「進路選択」について考えることで、現状でのキャリアプランを立て、その実現に向けた具体的な目標を設定することで、キャリアプランニング能力の向上を図る。
- (2) 準備 【教員】 ICT端末3台、プレゼンテーション資料、ワークシート（データ）、インタラクティブプレゼンテーションソフトのアクセスコード、ビデオカメラ、スピーカー
【生徒】 ICT端末
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
--------------------	----	---

<p style="text-align: center;">～ 休 憩 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Step④】知識やスキルを身に付けるための具体的な行動について考える。 ・ペアや全体で情報共有をする。 ・挙手または指名により答える。 <ul style="list-style-type: none"> ・【Step⑤】高校卒業後の進路を考える。 <p style="text-align: center;">— 予想される生徒の反応 —</p> <p>【Step③】専門性、機器操作、資格など。 【Step④】今よりも勉強を頑張る、専門書を読む、最新の機器を買うなど。 【Step⑤】大学、専門学校、就職など。</p> <p>5 自己の進路選択を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SEになるための手順を参考としながら、生徒自身が現在就きたい仕事について、【Step②～⑤】に沿ってワークシート②に入力する。 <p style="text-align: center;">— 予想される生徒の反応 —</p> <p>【Step②】公認会計士、教師、YouTuber、スポーツ選手など。 【Step③】発想力、コミュニケーション、専門免許・資格など。 【Step④】試行錯誤しながら制作する、多くの人と関わるなど。 【Step⑤】大学、専門学校、就職など。</p>	<p>10分</p> <p>10分</p> <p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表による生徒からの意見と、研修での経験及びアンケートを比較し補足説明をする。（専門性だけではなく、顧客から要望を正確に聞き取るためのコミュニケーション能力も必要であるなど。） <p>◎机間支援・声掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来について漠然とした考えから、手順に沿って考えていくことで、具体的な進路選択ができることに気付かせる。 ・進路選択について、分からない箇所や知識が不十分な場合は、様々な情報を収集・探索して活用することが必要であると伝える。 ・具体的かつより詳しく記入するように伝える。 ・就きたい仕事がない場合は、職業で検索させ、保護者などの職業で考えさせる。 <p>◎机間支援・声掛け</p>
<p><まとめ></p> <p>6 本時の振り返りと今後の具体的な目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを確認しながら、本時の振り返りを行う。 ・明日から始めることの目標を、ワークシート②に記入する。【Step⑥】 ・授業を受けて、再度「働くことの意義」について考える。 <p style="text-align: center;">— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真剣に進路選択について考えよう。 ・勉強や資格取得を頑張ろう。 ・就職先や進学先を調べてみよう。 ・進路指導室に行ってみよう。 	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返りながら、研修を通して働くことについて感じたことや進路選択について生徒に伝える。 ・キャリアプランは計画通りにいかないことやその時々で修正が必要であることを伝える。 ・ワークシートに、明日から始めることについての具体的な目標を入力させる。 ・再度働くことの意義を考察させ変容をつかむ。 <p>◇生徒自身が進路選択に向き合い、卒業後や将来を見据え、現状でのキャリアプランを立て、具体的な目標を設定している。 （キャリアプランニング能力） （ワークシート）</p>

※資料添付・ワークシート